

「施工プロセス」のチェックリスト（土木等）

1. 工事名 〇〇第〇号 〇〇工事

2. 工 期 令和4(2022)年〇月〇日 ～ 令和4(2022)年〇月〇日 3. 受注者 ㈱〇〇

課 名

監督員名

①「施工プロセス」チェックリストは、新潟県土木工事標準仕様書、建設工事請負基準約款、建設業法、労働安全衛生法等に基づき、施工に必要なプロセスが適切に施工されているかを監督員が確認する。

②チェック欄では、書類・写真等での確認もしくは現場確認等により、その内容がOKであれば「□」欄に「レ」マークを、OKでなければ、備考欄に指示事項や是正状況を記入する。

③用語の定義 契約後：当初契約後 変更後：工期内に行う契約変更後

考 査 項 目	種 別	確認事項	チェックリスト一覧表 (チェックの時期の目安)	チェック欄					備考 (指示事項及びその是正状況など)
				着手前	施工中			完成時	
1 施 工 体 制	I 施 工 体 制 一 般	○工程表	・ 契約締結の7日以内に、工程表が提出された。(約款第3条) (契約後、変更後)	□	□	□			(仕様書その1)1-1-1-4 工程表 ・市役所に提出した日で判定すること
		○コリンズ(CORINS)への登録	・ 事前に監督員の確認を受け、契約締結後の10日以内に登録機関に申請した。 (請負金額 500万円以上が対象工事) (契約後、変更時、完成時)		□	□		□	・変更時の技術者は主任、監理技術者のみ。現場代理人や前記以外の技術者変更は申請不要。 ・CORINSへの登録日付は、登録機関の登録日で判定する。 ・受注、変更、完成時の登録は監督員が登録内容確認書で確認する。 ・変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できる。
		○建設業退職金共済制度等	・ 掛金収納書の写しが契約締結後原則1ヶ月以内に提示された。(施工時1回) (完成時)					□	(仕様書その1)1-1-1-48 保険の付保及び事故の補償 ・中小企業退職金共済制度加入者は、これに読み替える。(同等の他制度含む)
			・ 「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識が現場に掲示されている。 (施工時1回程度)		□				・中小企業退職金共済制度加入者は、対象外。
			・ 建設業退職金共済証紙の配布状況が受払簿等により確認できる。 (施工時1回程度)		□				・下請各業者への証紙の配布状況を受払簿で確認する。 ・中小企業退職金共済制度加入者は、対象外。(同等の他制度含む)
		○工事費内訳書	・ 契約締結の7日以内に、所定の様式で提出した。 (約款第3条 発注者が必要と認める時) (契約後)	□					・一般的な工事では提出を求めない。
		○施工体制台帳	・ 施工体制台帳が現場に備え付けられ、その写しが提出されている。 (施工時の当初、施工体制変更時)		□	□	□		(仕様書その1)1-1-1-12 施工体制台帳及び施工体系図 ・工事を施工するため下請契約をした場合は、施工体制台帳の作成が必要。 ・施工体制台帳が適正に記入されているか、添付書類の不足がないか確認する。 ・変更が生じた場合、当該工事の施工前に監督員へ提出されているか確認する。
			・ 施工体制台帳に下請契約書(写し)及び再下請負通知書、契約書等が添付され、下請金額が確認できる。 (施工時の当初、施工体制変更時)		□	□	□		
			・ 施工体制台帳及び再下請負通知書に記載の全ての業者について、社会保険等への加入の有無を確認する。 (施工時の当初、施工体制変更時)		□	□	□		・施工体制台帳の「健康保険等の加入状況」欄を確認する。
		○施工体系図	・ 施工体系図が現場の工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示され、その写しが提出されている。 (施工時の当初、施工体制変更時)		□	□	□		(仕様書その1)1-1-1-12 施工体制台帳及び施工体系図 ・変更がある毎に、監督員に提出されている。
			・ 施工体系図に記載のない業者が作業していない。 (施工時の当初、施工体制変更時)		□	□	□		
			・ 施工体系図に記載されている主任(監理)技術者及び施工計画書に記載されている技術者が本人である。 (施工時の当初、施行体制変更時)		□	□	□		
		○労災保険関係成立票	・ 「労災保険関係成立票」の標識を公衆の見やすい場所に掲示している。 (施工時1回程度)		□				
		○建設業許可標識	・ 「建設業許可票」の標識が公衆の見やすい場所に設置され、監理技術者名等が正しく記載されている。 (施工時1回程度)		□				

「施工プロセス」のチェックリスト（土木等）

1. 工事名 〇〇第〇号 〇〇工事

2. 工 期 令和4(2022)年〇月〇日 ～ 令和4(2022)年〇月〇日 3. 受注者 ㈱〇〇

課____名____

監督員名____

①「施工プロセス」チェックリストは、新潟県土木工事標準仕様書、建設工事請負基準約款、建設業法、労働安全衛生法等に基づき、施工に必要なプロセスが適切に施工されているかを監督員が確認する。

②チェック欄では、書類・写真等での確認もしくは現場確認等により、その内容がOKであれば「□」欄に「レ」マークを、OKでなければ、備考欄に指示事項や是正状況を記入する。

③用語の定義 契約後：当初契約後 変更後：工期内に行う契約変更後

考 査 項 目	種 別	確認事項	チェックリスト一覧表	チェック欄				備考 (指示事項及びその是正状況など)	
				着手前	施工中		完成時		
Ⅱ 配置技術者／ 現場代理人・主任・ 監理技術者	○現場代理人	・現場代理人は、現場に常駐(兼任は常駐免除)している。(約款第12条)			□	□	□		・常駐の作業日報がある。休暇、他官庁打合せ等で現場にいなくても、常駐とする。
		(施工時)			□	□	□		・作業工程の管理、現場の安全対策、工事現場の運営等を確認する。
	○専門技術者	・現場代理人は、監督員との連絡調整を「連絡」を除き書面で行っている。			□	□	□		・変更した場合、適切に引き継いでいる。
		(施工時適宜)			□	□	□		・口頭処理でも、後日書面で整理している。
	○作業主任者	・専門技術者を専任し、配置している。(建設業法第26条の2)	□	□	□	□	□		・当初設計額500万円未満は、工事打合簿、段階確認書等について、メールでの打合せがで
		(施工計画時、施工時適宜)	□	□	□	□	□		・専門技術者が必要となる場合に確認する。##
	○潜水作業従事者	・作業主任者を選任し、配置している。(労働安全衛生法第14条)	□	□	□	□	□		
		(施工計画時、施工時適宜)	□	□	□	□	□		・作業サイクルと人員配置について確認する。
	○海上起重作業船団長	・潜水作業従事者を適正人員配置している。(港湾工事)	□	□	□	□	□		・組織体系と責任者及び連絡網を確認する。
		(施工計画時、施工時適宜)	□	□	□	□	□		・作業サイクルと人員配置について確認する。
	○主任(監理)技術者の 専任制	・海上起重作業船団長を配置している。(港湾工事)	□	□	□	□	□		・組織体系と責任者及び連絡網を確認する。
		・資格者証で確認できる。	□						・携行している資格者証により本人であることを確認する。
		(着手前)	□						・下請契約総額4,000万円以上は監理技術者が専任。
		・配置予定技術者、施工体制台帳に記載された技術者及び資格者証に記載された技術者と本人が同一であった。	□						・工事請負額3,500万円以上は主任技術者が専任(下請け工事も同様)。
		(着手前)							
・現場に常駐している。				□	□	□		・常駐の作業日報がある。	
○現場技術者	(施工時)			□	□	□		・休暇、他官庁打合せ等で現場にいなくても常駐とする。	
	・施工計画や工事に係る工程、技術的事項を把握し、主体的に係わっていた。			□	□	□		・変更した場合、適切に引き継いでいる。	
	(施工時、打合せ時)			□	□	□		・各下請業者に対して指導的な役割を担っているか確認する。	
○下請業者の把握	・施工に先立ち、創意工夫又は提案をもって工事を進めている。			□	□	□		・明確な根拠に基づいて、技術的な判断を行っているか確認する。	
	(施工時適宜)			□	□	□			
	・現場技術員との対応が適切である。(建設コンサルタント等に現場技術業務を委託している場合)			□	□	□		(仕様書その1)1-1-1-8 現場技術員	
○緊急連絡網	(施工時適宜)			□	□	□		・建設技術センター業務委託がこれに該当。	
	・下請業者が建設工事入札参加資格者である場合には、指名停止期間中でない。			□	□	□		(仕様書その1)1-1-1-11 工事の下請負	
	(施工時適宜)			□	□	□			
○緊急連絡網	・異常時、緊急時の対応・情報伝達・組織等が確立され現場の見やすい場所に掲示してある。			□					
	(施工時1回程度)			□					
2 施工 状況	Ⅰ 施工 管理	○設計図書の照査	・約款第20条第1項(1)から(5)に係わる設計書の照査を行っている。						(仕様書その1)1-1-1-3 設計図書の照査等
			(着手前、施工時適宜)	☑	□	□	□		
		・現場との相違事実がある場合、その事実が確認できる資料を書面により提出して確認を受けた。							
		(着手前、施工時適宜)	□	□	□	□			
		・施工(変更を含む)に先立ち、監督員に提出した。							(仕様書その1)1-1-1-5 施工計画書

「施工プロセス」のチェックリスト（土木等）

1. 工事名 〇〇第〇号 〇〇工事

2. 工 期 令和4(2022)年〇月〇日 ～ 令和4(2022)年〇月〇日 3. 受注者 ㈱〇〇

課 名

監督員名

①「施工プロセス」チェックリストは、新潟県土木工事標準仕様書、建設工事請負基準約款、建設業法、労働安全衛生法等に基づき、施工に必要なプロセスが適切に施工されているかを監督員が確認する。

②チェック欄では、書類・写真等での確認もしくは現場確認等により、その内容がOKであれば「□」欄に「レ」マークを、OKでなければ、備考欄に指示事項や是正状況を記入する。

③用語の定義 契約後：当初契約後 変更後：工期内に行う契約変更後

考 査 項 目	種 別	確認事項	チェックリスト一覧表 (チェックの時期の目安)	チェック欄					備考 (指示事項及びその是正状況など)
				着手前	施工中			完成時	
		○施工計画書	(設計金額が500万未満の簡易工事は「設計額500万円未満の工事の総括報告表」による報告) (着手前・変更時)	☐	☐	☐			・施工計画書が契約後概ね1か月以内に提出されている。
			・記載内容と現場施工方法が一致している。 (同 上) (施工時適宜)		☐	☐	☐		
			・記載内容(作業手順書等)と現場施工体制が一致している。 (同 上) (施工時適宜)		☐	☐	☐		
			・記載内容が、設計図書・現場条件等を反映している。 (同 上) (着手時・変更時)	☐	☐	☐			
			・新潟県コンクリート品質確保ガイドライン（案）に基づく取り組みを採用する工事は、その記載がある。	☐	☐	☐			・「Poc-tech」システムを使用した場合は、システムにより作成される「打込計画書」にて施工計画を確認する。施工計画書でのコンクリート打込計画の記載は省略できる（求めなくてよい）
		○施工管理 ・工事材料管理・出来形、品質管理	・工事材料の品質を証明する資料を整備、保管し、提示、提出している。 (検査時)					☐	(仕様書その1)2-1=2 工事材料の品質
			・新潟県コンクリート品質確保ガイドライン（案）に基づく取り組みを採用する工事は、そのガイドライン（案）に基づいて施工されていることが確認できる。		☐	☐	☐	☐	・施工記録データベースへの記録確認 ・コンクリート施工中に1回以上「現場状況把握チェックシート」 現場確認 ・完了時に、リフト図（構造物毎）打込管理表（打込リフト毎）、ひび割れ調査票（構造物毎）の3帳票の提出確認
			・工事材料を品質に影響ないように保管している。 (施工時適宜)		☐	☐	☐		・施工計画書で保管方法を確認し、実際の施工と一致しているか確認する。
			・自社の管理基準を持ち、その基準により社内検査が完了していることが書面で確認できる。 (着手時・検査時)	☐				☐	・施工計画書に自社の管理基準が記載されているかを確認する。
			・出来形・品質管理が工事の施工と並行してその都度行っていることが書面にて確認できる。 (施工時または検査時)		☐			☐	・段階確認時に整理されているかを確認。
			・標準仕様書、工事書類作成マニュアルに記載されている提出書類が簡潔で必要以上に作成されていない。 (確認時・検査時に求めているはいけない) (検査時)					☒	・提出済みの施工計画書や材料承認願等が再度作成されていない。 ・提出頻度を超える工事写真が作成されていない。 ・検査時の提示書類と提出書類がきちんと区別整理されている。
		○現場環境改善	・絵パネル・標語パネル・フラワーポット・作業員休憩棟・記念植樹・安全旗掲揚・現場事務所カーペットフローア・エアコン・2重サッシ・応接室・冷蔵庫・会議室・雨具掛室・談話室・観葉植物・シャワー室・水洗トイレ・内階段・食堂・洗面所・更衣室・洗濯機 (施工時適宜)	☐	☐	☐	☐		・現場環境改善費の計上如何を問わず、確認する。 ・現場環境改善費の計上がある場合は、施工計画書の記載を確認し、実際の施工と一致しているか確認する。
		○検査(確認を含む)及び立会い等の調整	・監督員の立合いにあたって、段階確認についてはあらかじめ段階確認願(種別、細別、施工予定時期等)を提出している。 (施工時適宜)		☐	☐	☐		(仕様書その1)1-1-1-23 監督員による検査(確認を含む)及び立会等
			・段階確認の確認時期が、適切である。（土木工事監督技術基準別表2） (施工時適宜)		☐	☐	☐		

「施工プロセス」のチェックリスト（土木等）

1. 工事名 〇〇第〇号 〇〇工事

2. 工 期 令和4(2022)年〇月〇日 ～ 令和4(2022)年〇月〇日 3. 受注者 (株)〇〇

課 名

監督員名

①「施工プロセス」チェックリストは、新潟県土木工事標準仕様書、建設工事請負基準約款、建設業法、労働安全衛生法等に基づき、施工に必要なプロセスが適切に施工されているかを監督員が確認する。

②チェック欄では、書類・写真等での確認もしくは現場確認等により、その内容がOKであれば「□」欄に「レ」マークを、OKでなければ、備考欄に指示事項や是正状況を記入する。

③用語の定義 契約後：当初契約後 変更後：工期内に行う契約変更後

考 査 項 目	種 別	確認事項	チェックリスト一覧表	チェック欄				備考 (指示事項及びその是正状況など)	
				着手前	施工中		完成時		
		○工事の着手	・ 契約締結の日から起算して7日以内に工事に着手した。 (着手時)	□				(仕様書その1)1-1-1-10 工事の着手 ・市役所に着手届を提出した日で判定すること。	
		○支給材料及び貸与品	・ 使用予定日の14日前までに、品名、数量、品質、規格又は性能を記した要求書を提出した。 (施工時適宜)		□	□	□	(仕様書その1)1-1-1-19 支給材料及び貸与品	
		○建設副産物及び建設 廃棄物	・ 受注者は、産業廃棄物管理票(マニフェスト)により適正に処理されていることを確認し、 監督員に提示(資料を示し説明)した。 (施工時適宜)		□	□	□	(仕様書その1)1-1-1-21 建設副産物 ・産業廃棄物管理票A票からE票の提示により、監督員が工事打合簿にその旨を記載する。	
			・ 再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を所定の様式に基づき作成し、 施工計画書に含め監督員に提出した。 (施工前)		□			・施工計画書に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画 が当初から添付されている。	
		○指定建設機械の確認	・ 指定建設機械（排出ガス対策型、低騒音型、低振動型建設機械）を使用している。 (施工時)		□	□	□	・特記仕様書に記載した指定型式を確認。	
	Ⅱ 工 程 管 理	○工程管理	・ 工程のフォローアップ等を実施し、工程の管理を行っている。 (施工時適宜)		□	□	□	・変更に伴う工程表が速やかに提出されているか確認。	
			・ 現場設計内容の変更への対応が早く、また地元調整を積極的に行い、その結果を書類で提出した。 (施工時適宜)		□	□	□	・工事内容の変更に関する理解が的確。 ・変更に対する対外的な調整が適切。	
			・ 官公庁の休日または夜間に作業を行った場合、事前に書面で提出した。 （「施工計画書等で事前に作業実施報告」をしているものは除く。） (施工前)		□	□	□	(仕様書その1)1-1-1-42 施工時期及び施工時間の変更	
	Ⅲ 安 全 対 策	○安全活動	・ 新規入場者に対する安全教育を実施し、記録がある。 (施工時または検査時)		□			□	(仕様書その1)1-1-1-33 工事中の安全確保
			・ 安全教育・訓練を4時間／月以上実施し、記録がある。 (施工時または検査時)		□			□	・「記録」でチェック。 ・事例は適切なものを使用しているか。
			・ 安全パトロール、作業前安全ミーティング（KY）等を実施し、記録がある。 (施工時または検査時)		□			□	・「記録」でチェック。
			・ 店社パトロールを1回／月以上実施し、記録が整備されている。 (施工時または検査時)		□			□	・「記録」でチェック。
			・ 災害防止協議会等を設置し、活動記録がある。 （同一現場で複数の業者が作業する場合に設置される） (施工時または検査時)		□			□	・「記録」でチェック。
			・ 使用機械（港湾工事の場合は船舶・機械）、車輛等の点検整備等が管理され、記録がある。 (施工時または検査時)		□			□	・「点検記録」をチェックする。
			・ 重機操作で、誘導員配置や重機と人との行動範囲の分離措置がなされた点検記録 （機械の作業計画書）等がある。 (施工時または検査時)		□			□	・「点検記録」をチェックする。
			・ 山留め、仮締切等の設置後の点検及び管理の記録がある。 (施工時または検査時)		□			□	・「点検記録」をチェックする。
			・ 足場や支保工の組立完了時或使用中の点検及び管理がチェックリスト等により 実施され、記録がある。 (施工時または検査時)		□			□	・「点検記録」をチェックする。

「施工プロセス」のチェックリスト（土木等）

1. 工事名 〇〇第〇号 〇〇工事

課 名

2. 工 期 令和4(2022)年○月○日 ~ 令和4(2022)年○月○日 3. 受注者 (株)○○

監督員名 _____

①「施工プロセス」チェックリストは、新潟県土木工事標準仕様書、建設工事請負基準約款、建設業法、労働安全衛生法等に基づき、施工に必要なプロセスが適切に施工されているかを監督員が確認する。

②チェック欄では、書類・写真等での確認もしくは現場確認等により、その内容がOKであれば「□」欄に「レ」マークを、OKでなければ、備考欄に指示事項や是正状況を記入する。

③用語の定義 契約後：当初契約後 変更後：工期内に行う契約変更後

考 査 項 目	種 別	確認事項	チェックリスト一覧表	チェック欄					備考 (指示事項及びその是正状況など)
				着手前	施工中			完成時	
			・地下埋設物及び架空線に関する事故防止措置が実施されている。 (施工時または検査時)		☐			☐	・施工計画書の記述と一致するか確認する。
		・交通誘導員、交通安全施設が配置計画に基づき適正に配置されているとともに、 交通誘導員の勤務実績が管理された記録がある。 (施工時または検査時)		☐			☐	・ＫＹ日誌等で配置人数をチェックする。	
		・工事現場内・資機材置場・危険物置場の整理整頓がなされている。 (施工時または検査時)		☐			☐	・場内整理が徹底しているかを確認する。	
		○安全パトロールの指摘事項の処理	・各種安全パトロールでの指導事項や是正事項について、速やかに改善を図り、 かつ関係者に是正報告した記録がある。 (施工時または検査時)		☐			☐	・「記録」でチェック。
	Ⅳ 対 外 関 係	○関係機関等	・関係官公庁等の関係機関との折衝及び調整をした記録がある。 (施工時または検査時)		☐			☐	(仕様書その1)1-1-1-42 官公庁等への手続等 ・「記録」でチェック。
			・地元住民や地権者との施工上必要な交渉、工事の施工に關しての苦情対応 を適切に行い、記録がある。 (施工時または検査時)		☐			☐	(仕様書その1)1-1-1-42 官公庁等への手続等 ・「記録」でチェック。
			・第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。 (施工時または検査時)		☐			☐	・「記録」でチェック。
			・隣接工事又は施工上密接に関連する工事の請負業者と相互に協力を行ってい る記録がある。 (施工時または検査時)		☐			☐	・「記録」でチェック。